

# 第 17 回木質科学シンポジウム

テーマ：「木質科学のフロンティア～形成機構から高付加価値化へ～」

趣旨：2050年カーボンニュートラルを目指す中、エネルギーやマテリアルの原料を化石資源からバイオマスへシフトさせていくことが求められています。「伐って、使って、植える、育てる」森林資源の循環利用がカーボンニュートラル社会の構築に不可欠です。木材を建築材料として利用拡大を図るとともに、その過程で発生する端材等の高度化学利用など木材の高付加価値化が重要となってきます。本シンポジウムでは、木質の性質を決定する木部細胞の形成機構から、建材利用や化学利用を推進させる木材の高付加価値化に関する木質科学のフロンティアを、新進気鋭の研究者に紹介していただきます。

日時：2026年6月20日(土) 15時開始予定(総会終了後)

場所：東京大学農学部中島ホール (Zoom オンラインとのハイブリッド)

プログラム：

15:00 開会挨拶 日本木材学会会長 恒次祐子

15:05-15:45 工藤 佳世 氏 (秋田県立大学 木材高度加工研究所)  
「樹木における春先の二次木部形成様式～広葉樹環孔材とイチヨウにおける観察から～」

15:45-16:25 陳 碩也 氏 (京都大学 生存圏研究所)  
「人工知能が拓く木質科学研究の新たな可能性」

16:25-16:35 休憩

16:35-17:15 上田麟太郎 氏 (北海道立総合研究機構 林産試験場)  
「木づかいを『続ける』ための研究の試み～製材と土木利用を通して～」

17:15-17:55 野田拓海 氏 (京都大学生存圏研究所)  
「植物由来芳香族分子の高付加価値化：二量化反応を基盤とした高性能／機能性高分子材料の開発」

17:55 閉会挨拶 日本木材学会研究強化企画委員会委員長 福島和彦

後日、正会員の皆様には、Zoom の URL をご案内いたします。

学生会員・賛助会員の方で、オンライン参加をご希望の方は Zoom の URL をお知らせいたしますので、事務局までお問い合わせください。

お問い合わせメールアドレス：office(アットマーク)jwrs.org